

きりん新聞

五月山・一泊保育の歩み



● 五月山登山のわらい・・・どんな学びをし、どんな経験していくのか

この五月山登山に向けて、歩き込みなどの取り組みを行う中で、体力がつくのはもちろんの事、それ以上に子どもたちの心が大きく成長します。

たてわりデイキャンプでの経験でつけてきた力を、今度は同じ5歳児同士の中でその力を出し合い、助け合い、支え合うことで「みんながいれば大丈夫!」「自分たちならこんなすごいことができるんだ!」と実感し、5歳児としての自信をつけてほしいと思います。自分たち一人ひとりが大切な存在で、みんながいることでいろんな違いの垣根を越えて、仲間と一緒に大きな力になるという経験をしていきます。

また、五月山での取り組みを通して、自分自身を知ることや、友達を思いやる心が育っていきます。友だちの存在の温かさ・大切さに気付いていけるよう、取り組みの中で出てきたトラブルを子どもたちと一緒に考える事を大切にし、グループの友だちとの関係づくりを大切にして取り組んでいます。

五月山登山は5歳児きりんだけのものではなく、園全体できりんを後押ししてくれています。たてわりクラスの仲間や、乳児クラスからのたくさんの応援を、自分たちの力にかえて挑戦しました。



★歩きこみの様子

1回目 4月19日 (千里北公園)

いよいよ五月山登山に向けての歩きこみが始まりました。当日は朝から少し緊張気味の子どもたちでしたが出発の準備をしていく中で気合が入っていくようで、みんなに見送られる中“行ってきます”と元気に出発しました。でも、お散歩と違い歩く距離も長くなってくると、リーダーの掛け声に返事もなく、歩くことがしんどくなってきました。途中で立ち止まってお互いの気持ちを話す中でしんどいのは自分だけではなくて、友達もしんどかったり、それでも頑張りたいと思っている気持ちを聞き、自分たちで行くための方法を考えました。しんどいことも一緒にがんばる友だちがいること感じていました。



2回目 5月19日 (千里中央公園)

2回目の歩きこみの行き先は子どもたちで決め、千里中央公園に決まりクラスリーダーと事前に公園の下見にいきました。当日の朝の準備はリーダーに任せきりにするのではなく、クラスで困っている子がいれば手伝い、準備する姿がありました。歩きこみ2回目ということで「自転車来てるからきをつけて」「もう少し前つめて」など“自分たちで目的地までいくんだ”。という気持ちを感じられました。クラスリーダーだけではなく、自分のできる事を探し、みんなで意見を出し合い考えていくことが大切な事だと知ることができたと思います。そして、公園では五月山にいる伝説の“九頭竜”の足あとを探し、帰り道では手紙も見つけて帰ってきました。



3回目 5月25日 (千里南公園)

今回の目的地は園から3.2キロほどある千里南公園です。2回の歩きこみの経験で自信もついてきたようでしたが、やはり暑さでバテはじめて元気がなくなってきました。そんな中で元気に「ピッピ、ファイト！」と掛け声をかける子がいることで、それに応えて声を出し合いながら前に進んでいきます。しんどいのは自分だけじゃない、周りの友達は大丈夫か？疲れていなか？などお互いに気かけながら行くことを話して歩きました。今回の歩きこみの中で“自分がどう協力したらいいかわからない”という声があり、そんな気持ちがあってもいいこと、その気持ちを伝えてくれることで一緒に考えたり、手伝ったりできることを話して、いろんな気持ちがあること、それを伝えていいこと学び、しんどいときこそ「ピッピ、ファイト！」で気持ちをひとつにしていきました。



4回目 6月1日 (箕面の滝)

箕面駅から箕面の滝へは途中から山道を歩いていきます。登山に向けてのイメージを持ちながら歩きます。山の中に入り大きな階段、ガタガタ道を登ります。もも・ぶどう・れもんと各クラスでまとまって歩く中、しんどくて先頭から遅れることもあり、「もう少し、ゆっくり行ってほしい」と伝えて、歩くのがしんどくなる子が先頭に行って、ペースを合わせるように考えたクラスもあります。立ち止まったりしながらも、諦めずに歩き、3クラスとも箕面の滝まで到着しました。ダイナミックに流れる大きな滝を見上げ、悩んだぶん満足そうにしていました。帰り道、川の中にオオサンショウウオも見つけ鑑賞してきました。そして、いよいよ五月山登山にチャレンジとなりました。



★五月山登山当日の様子 (6月10日)

いよいよ迎えた当日。子どもたちは「ついに今日だな。頑張るぞ」という気合が入った表情の中に緊張が見られました。五月山公園に到着してから登山口までの道のりは急な坂道がたくさんあります。暑さもあり、歩き込みでも経験したことがないような坂道に少し辛そうにしたり不安そうな表情をしたりする子もいましたが、まだまだ元気な友だちが「びっびっ！ふぁいと！」のかけ声で盛り上げながら進みました。



登山口からはクラスごとに『大文字焼き』を目指しました。先頭は「ここから段差大きいよ」「後ろ来れてる？」と全体のことを気かけ、後ろは「大丈夫だよ」や「もうちょっとゆっくり行ってほしい！」と声をかけ、真ん中がその声かけを繋ぐという姿が見られました。そんな姿が出るまでにはたくさん考えてきたことがありました。



あるクラスの4回目の振り返りでサブリーダーの役割がわからなかったことで自分が頑張ったことを見つけられなかったサブリーダーがいました。「このグループはサブリーダーの役割がわからないまま五月山登る？」と聞くと「みんなで頑張って登れるように考えたい」と同じグループの友だちは頑張れる方法を見つけようとしていました。このグループは大切なことに気付くことができました。ダメだったとマイナスに捉えるのではなく、ここに気付くことができたから次の五月山はサブリーダーとしての役割を見つけてみんなで登ろう！と決めることができました。大きな声を出すことが苦手なサブリーダーに合わせて手をつなぐペアを組み直してみたり、具体的にどんな声かけができるのかをみんなで考えたりしました。そして五月山に向けて散歩に出かけてそこで声かけの練習をしたい！と自分たちで取り組もう

とする姿も出てきました。散歩に行った時には手を繋いでいる友だちと声を合わせて先頭が言っている言葉を後ろのクラスに繋げる姿があり、グループ全体のこととして一人ひとりがアイデアを出し合い考える姿に感心しました。

そういった今までの歩き込みで経験した困ったことやトラブルをみんなで考えてきたことを活かしている姿は、今まで積み重ねてきた集大成だと感じました。「どうしたらいいんだろう」と悩み、そのことについてクラスやきりん全体で向き合ってきたことは大切な時間でした。



力を合わせてたどり着いた大文字焼きでは絶景を前に「千里中央どこやろ?」「伊丹空港もみえる!」とここまで登った達成感を感じながら友だちと話していました。くま、ぞうから貰ったお守りを開けると、嬉しくて思わず顔がにやけてしまう子どもたち。友だちと「みてみて」と見せ合いっこをしながら「かわいいなあ」と何度も見ていました。絶景やお守りにパワーをもらい気合を入れなおして、頂上を目指しました。

長い道のりの途中には石碑などがあります。「九頭竜からのメッセージかも!」と、大人に「なんて書いてるの?読んで!」とお願いしていました。大人たちは突然のむちゃぶりに少し慌てながらも子どもたちがわくわくするようなメッセージを考え、一緒に楽しみながら登ってきました。そうしてついに五月山の頂上に到着しました。大きな展望台に上り九頭竜を探しに行きました。そこに九頭竜の姿はありませんでしたが「くずりゅうさーん!!」とみんなで叫ぶと風が吹き「お返事してくれた!」「声聞こえたのかな?」と盛り上がっていました。「もういっかいよぼう!せーの…」とみんなで何度も声を合わせ楽しんでいる姿は頂上に辿り着くことができた達成感に包まれているようでした。



最後の力を振り絞り「ぴっぴっ!ふぁいと!」のかけ声で園に帰ると園のみんなが横断幕を準備して待っていました。温かいお出迎えに「ただいま!」と挨拶しました。ホールに着くとさらにもう一つのサプライズ。お家の人からの愛情たっぷりのメッセージに「なにこれ~!」「めっちゃすごいやん!」と大はしゃぎでした。その後に振り返りをしました。振り返りでは「頑張ったこと」「できたこと」を話しました。クラスごとで話すと頑張ってきた分たくさん意見が出る子、緊張してなかなか言葉が出ない子がいましたが、まわり子どもたちから「こんなところ頑張ってたやん!」と友だちの頑張りをしっかり見ていて伝える子がいたり「ここまで頑張ったんだからきっと言えるよ!」と待ってくれる友だちがいました。歩き込み、きりん活動を通して友だちの苦手なこ



とを知って、そこからみんなでやるためにはどうするか、どうしたら力を貸すことができるのかを考えてきました。そんな経験が振り返りの中で緊張している友だちに対してさっと助けてあげられる姿に表れていました。

振り返りが終わり、一泊保育が始まりました。いつもとは違う特別なことが盛りだくさんです。頑張った後に食べるカレーは一

段と美味しく感じました。その後はみんなで北丘特製の露天風呂に入り、山登りで疲れた体を癒しました。そして夜のお楽しみ。各グループで考えた出し物を友だちと一緒に思い切り楽しんでいました。お家の人と離れていつもと違う場所にお泊まりすることにみんなドキドキしていましたが「ドキドキしたときは隣に友だちがいる」「きりんだからこそできることを楽しもう！」とドキドキを乗り越えました。

頑張る五月山、楽しむ一泊保育とみんなで力を合わせ、同じしんどさや同じ達成感を味わったからこそ感じられる特別感と楽しさを感じる事ができました。



五月山登山の取り組みで見た子どもたちのすごさ！

2回目の歩き込みでは自分たちで行先を決め、下見もクラスリーダーが行ったことで“自分たちで行く！”という気持ちが強くなるきっかけになったと感じました。自分たちで決めて自分たちで行けたという成功体験をしたことで子どもたちの姿がとても変わりました。3回目の歩き込みでの声掛けが増えたのはもちろん、普段のきりん活動の中でも困ったことがあると自分たちで考えたり、声を掛け合う姿が増えました。そんな姿に大人は驚かされました。これからも子どもたちにたくさん驚かされながら楽しんで過ごしていきたいと思います。

(はなちゃん)

歩き込みや振り返りを通してたくさんのトラブルにぶち当たってきました。子どもたちにとってトラブルは気持ちが落ち込んだり、時には涙を流したりとマイナスイメージだと思いますが、そのトラブルを乗り越えた子どもたちの顔つきや声かけ、友だちを気にする姿などがガラリと変わります。そんな姿に感心しました。子どもたちが自分の気持ちに気付いて言葉にすることの難しさを感じたり、友だちの気持ちに気付こうとしてきたりした経験が五月山での姿に繋がったのだと思います。これからも子どもたちと一緒に色々な経験をしていきたいと思います。

(まいちゃん)

歩き込みの回数を重ねるごとに、友だちの声を聞いたり、自分の気持ちを伝えたりする姿が多くなったきりんさん。山道が怖いという子がいると手を繋いだり、安心できるように歩く順番を変えたりなど友だちの気持ちに寄り添っていました。五月山では「ここだんさあるからきをつけて！」や困ったことがあると「ちょっとまって！」と声を掛け合っていて、全員で登ろうとしている気持ちが伝わってきました。これからも友だちの力を借りたり、貸したりしながらいろいろなことを乗り越えていってほしいと思います。

(りのちゃん)

たくさんの歩き込みを通して、グループのトラブルを乗り越えていました。他のクラスの出来事を他人事にはしないで、自分のグループはどうかと一緒を考える姿や前に追いつけないから「ゆっくりいってほしい」と声をかけたり、逆に先頭が「はやかったら行ってね」と言ったりとお互いに気にかける姿がありました。また、みんなのために何ができると考えたときにそれぞれ〇〇リーダーと担当を決めて実践していました。その大切な気持ちがあったからこそクラス一丸となって声を出して足をしっかりあげて五月山に登れたんだと思います！！

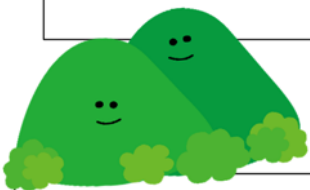
(みゆちゃん)

五月山登山の最後の振り返りで、一生懸命、“友だちの頑張っていたこと”を語る子どもたちの姿がとても印象的でした。取り組みの中で、自分のことに精一杯になっていた子どもたちは、自分のすぐそばで困っている友だちに気付きました。その時、その子がどう思っているのか、自分は思うのか、子どもたち同士で言葉にしたり伝え合ったりすることを大切にしてきました。友だちのことを知ろうとする気持ちや知った時に一緒に考えて行動していく経験は、人を思い、人と繋がる力になっていくと感じました。少しずつですが、成長し、変化していく子どもたちを応援していきます。

(ひろくん)

歩き込みから子どもたちの姿を見て私が1番感じたことは、経験から学ぶことのできる力です。歩き込み活動を繰り返ししていく中でグループ行動していると、どうしても意見の違いやトラブルが出てきます。そんな時は大人が解決するのではなく子ども同士で話し合えることを大切にしてきました。「どうしたらいいのか？」と繰り返し考えることで、その子の気持ちに寄り添うことが出来るようになっていく姿がみられるようになりました。また、寄り添ってもらった経験をすることで今度は自分が寄り添ったり、誰かのためにがんばろうとする力にかわっていました。この五月山の経験を今後の子どもたちの一人ひとりの生き生きと出来る活動に繋げていきます。

(みーちゃん)



～最後に～

五月山登山・一泊保育を通して子どもたちはグループやクラス、きりんの仲間と一緒に取り組むために力を合わせることの難しさ、楽しさを感じてきました。初めは「協力ってなにをするのかわからない」と言っていた子どもたちが自分や友だちの苦手に向き合ったり「わからない」に気付いて考えたりするたびに「みんなでやまをのぼりたい」という気持ちに変わっていききました。みんなでたくさん考えてきたこと、頑張ったから楽しい一泊保育を経験できたことを忘れずにこれからのたくさんの行事でも「五月山を登ってお泊りが出来た自分たちならこんなこともできる！」と自信に繋げて行ってほしいと思います。北丘聖愛園のリーダーとしてはまだまだこれからですが、少しずつ成長している子どもたちと一緒に応援してもらえたらと思います。



